

# 『平和・人権・民主主義を考える』西濃憲法集会2008

## 『生きさせろ!』

私は、昨年の9月に弁護士となり、たくさんの事件に触れてきましたが、その奥底に潜んでいた影、それが現代の「貧困」です。

「貧困」は社会の隅々に潜んでいて、今もどんどん広がっています。「自分に関係ない?」そんなことはありません。相次ぐ食品の値上がりや医療費の負担増…「生活にかかるお金が高い!」、「働きに見合う給料が貰えない!」、そう感じることはありませんか。目を向けていないだけで、実は「貧困」は私たちのすぐそばにいて、大きな口を開けて私たちを飲み込もうとしているのです。

憲法は、「生存権=健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障しています。それは人が人として尊厳を持って生きるための保障です。もし、それ以下の生活を強いられたら、自分がその日をどう生き抜くかで精一杯で、他のことを考える余裕などなくなるでしょう。「貧困」により生存権が脅かされることは、憲法の理念である平和・人権・民主主義を壊すことにも繋がるのです。

昨年から、広がる貧困を何とかしたいと、「反-貧困」を旗印に、全国各地で活動が開始されています。その中心的存在である雨宮処凛さんが今年のゲストです。彼女が叫んだ言葉。「生きさせろ!」。単純なようで非常に深い意味を含んだこの言葉が今年の憲法集会のテーマです。どういう深い意味があるのか。広がる貧困にどう立ち向かえばいいのか。ちょっとでも気になったら、憲法集会に来て下さい。みんなが意識を持つこと、それが解決への第一歩ですから。

「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会  
2008実行委員長 小山 哲

### 第1部 12:15~14:45

#### 雨宮処凛と語る 『生きさせろ!』

「格差と貧困」は、深く、静かに進行しています。非正規雇用があたり前の中では、教育も医療も、働く機会さえも自分で選択する自由などありません。

運よく正社員になれたとしても、死ぬほど働かされ、賃金は上らない。それどころか精神を病み、過労死や自殺に追い込まれる。

こんな社会に希望や夢をもつ若者はいるでしょうか。何かがおかしい……。

全国で旋風を巻き起こし、非正規雇用問題で社会に大きな変化を生み出している雨宮処凛に、地域の若者がせまります。

### 第2部 15:00~17:00

#### 映画『シッコ (sicko=ビョーキ)』

日本では今、後期高齢者医療制度が大問題になっています。アメリカ型医療の始まりのようです。

「華氏911」のマイケル・ムーア監督がメガホンをとったこの「シッコ」という映画。(sickoとは「ほとんどビョーキ」とあざけるときの言葉づかい)

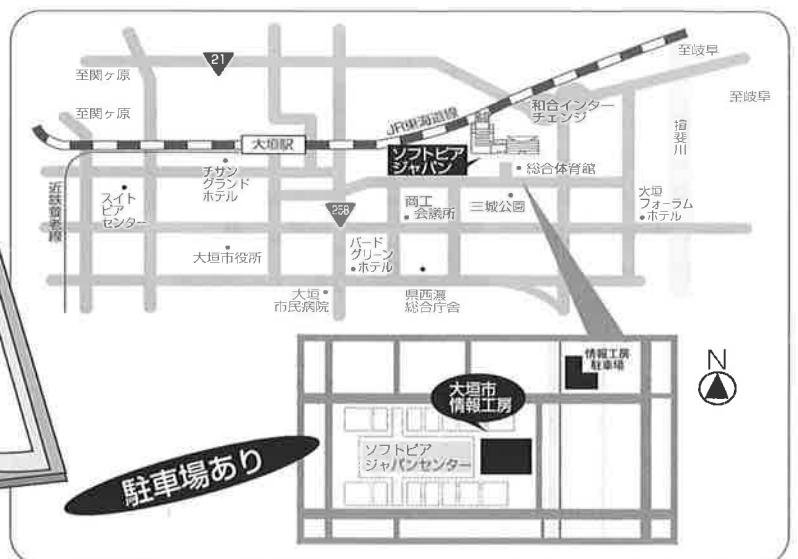
国民皆保険の医療保険制度のないアメリカがどんな悲惨な現状にあるのか。鳥肌のたつような実態に、この映画を見た人からは、「命は金次第」の社会を、明日の日本医療の姿にしてはならないとの声があがっています。

#### 中高生らが企画する 『ようこそ先輩 平和課外授業5時間目!』

世界で活躍する大垣出身のジャーナリスト久保田弘信さんが先輩として参加する企画もいよいよ5時間目突入です。中高生らもそれぞれ「食」をテーマに学習してきたことを発表します。深刻な食糧事情は日本だけではありません。

4/19(土)14時開始 場所: JR大垣駅 アビオビル6F  
=テーマ=「世界の食糧と平和」

5/3にそれまでの取り組みの報告をします。



西濃憲法集会2008の成功のために協賛金のご協力をお願いします。

(協賛金の受付 郵便振替口座 00870-6-101487 加入者名 近藤ゆり子)